



キッスだより

令和8年2月 第47号
たかといちどいキッス

♪ おにはそと ふくはうち ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ
まめのおと おにはこっそり にげていく ♪

この歌は、『豆まき』という歌です。節分が近づくと子どもたちは、『豆まき』『鬼のパンツ』を歌いだします。様子を見てみると、歌いながら周りをキョロキョロしています。「ん？」と不思議に思っていたのですが、鬼が来ないか確認しているようです。「鬼は、病気・弱い心・泣いている子どものところに来るから、みんなが元気で強い心をもてるように豆をまいて鬼が来ないようにしようね」と、なぜ鬼が来るのか話をしました。乳児には、少しわかりにくい話ですが、分かりやすく伝えていきたいと思います。

1月の末から寒さが厳しくなり、夕方の散歩に出かけにくくなりました。子どもたちは3時のおやつが終わると、靴下と帽子を持ってきて「きょうさんぽいく？」と聞いてきます。「今日は寒いから部屋で遊ぼう」と言うと、「え～さんぽいきたい」「よーいどん、したい」と行きたそうにします。ある日、子どもが「きょうは、おひさまがでているから、さんぽいける？」と言いに来ました。確かにその日は、太陽もでていて、少しなら散歩に行けるかな？と、少しの時間出かけました。子どもたちは、「さむ～い」と言いながらも、歩くことを楽しんでいました。寒いからといって部屋にいたのではなく、戸外に出て体を動かすことで代謝が上がります。子どもたちは、散歩が大好きです。散歩に行くことで、自然の変化を楽しみ、交通ルールを身につけ、地域との関わりを深めています。寒い日の散歩も楽しめるようにしていきたいと思います。

戸外に出られない時には、積み木や電車、ままごとなどでゆったりと遊ぶ時間と、体操やストップゲーム、巧技台を使って、思いっきり体を動かして遊ぶ時間を設け、子どもが楽しく過ごせるようにしていきます。

北坂 美知子



2月の予定



節分の会	3日(火)	誕生会	4日(水)
救急訓練	5日(木)	発育測定	20日(金)
避難訓練	26日(木)		
体育あそび(にじ組)		19日(木)	





あけく・ひんぐみ



先月は『なべなべそこぬけ』替え歌バージョンをして遊びました。初めは保育士と手を繋いで遊んでいましたが、繰り返し楽しむ中で遊び方を覚え、友だちと手を繋ぐようになりました。保育士が歌うと嬉しそうに友だちと顔を見合わせる姿が見られます。今では自然に手を繋いで、子どもたち同士で「すわりましょ〜♪」と歌って楽しんでいます。今後も仲立ちをしながら一緒に遊び、友だちと関わる楽しさを感じられるようにしていきます。

「靴・靴下を脱いで、片付けようとする」「服を引っ張って脱ごうとする」など着替えに興味をもちはじめた子どもたち。子どもの思いを受け止めたり挑戦する姿を認めたりし、「自分でしてみよう」とする気持ちが育つよう丁寧に関わっていきます。



な〜べな〜べ
そ〜こぬけ〜♪



すわりましょ〜♪



ひんぐみ



靴下の履き方を伝えると、自分で履こうとしています。「上手に靴下履けるかな？一緒にしてみよう」「上手に引っ張って履けたね」と声をかけると満足そうな顔を浮かべていました。足が上手く入らない時は、「うーんできない」「(てつだっ) てー」と助けを求めています。指先まで一緒に足を入れ「上に引っ張ってごらん」と伝えると「で(き)ったー」と喜んでいきます。今後も、自分でしようとする姿を認め、一人ひとりに合わせた声をかけ、衣服の着脱を自分でする習慣がつくようにしていきます。

知っている動物の鳴き声や動きを真似て嬉しそうにしています。様々な動物が出てくる絵本を見たり、動物の歌を歌ったりして表現することを楽しくするようにしていきます。



はけるかな？



よいしょ



ひんぐみ



指先を使うことが上手になってきて、1歳児は、パズル、紐通し、粘土、2歳児は塗り絵をしたり、はさみで切ったりして楽しんでいます。粘土遊びでは、ちぎったり丸めたりして遊んでいます。少しずつヘビや雪だるま、顔などに見立てて作ったり組み合わせたりするなど、遊び方にも変化が見られるようになってきました。はさみで遊ぶ時には、手先が思うように動かず、苦戦している子どももいました。繰り返し遊ぶうちに指先の使い方がわかり、思いきり表現することを喜んでいます。引き続き、輪ゴムかけやパズルなど、指先を使った遊びを取り入れるようにしていきます

上着の着脱を自分でしようとしています。上着の着方を伝えたり、一緒にファスナーやボタンをしめたり、少しずつ着方がわかるように援助していきます



ひも通し



はさみ



粘土



びん



先月からうがいを始めました。なぜうがいをするのかを話し、コップの使い方やうがいの仕方などを知らせました。口に水を含んで「べー」とすぐに出す子どもには、傍について手本を見せると、少しずつブクブクうがいをしています。「うがいできるかな」と見守っていると、「みていてね」「できたよ」と嬉しそうに保育士に知らせる子どもたち。ブクブクうがいができるようになってから、ガラガラうがいにも挑戦していきます。習慣づいていくように今後も声をかけたり認めたりしていきます。

ままごとが大好きな子どもたちは、料理をすることを楽しんでいます。一緒に作ったり、保育士や友だちと会話をしたりして、ままごと遊びを楽しめるようにしていきます。

ぶくぶくうがい



コップを拭いて



袋に入れるよ



《毎日の癒しをもらう私のキャットライフ》

昨年の9月に癒しをくれる家族が増えました。その家族とは猫です。小さい頃は犬を飼っていましたが、なぜか猫が好きで、飼うことに憧れをもっていました。一人である時や落ち着いたときに、一緒にゆったり過ごせると思っていたからです。そしてついに決心しました。生後4か月の保護猫をネットみて、迎え入れることになりました。初めて猫を迎えに行く時は、ドキドキでちゃんと育てられるのか不安でした。家に来た初日には私が落ち着かなくて、ちょっと姿が見えなくなると、「どこ行った?」「なにしてる?」と気になって仕方ありませんでした。トイレ、ごはん、爪とぎなども、ばっちり、天才猫だと思います!(飼い主バカです)

私の猫は、天真爛漫で何にでも興味津々の男の子です。毎日いたずらをしたり、忙しい時にかまってアピールをしたりして困らせることもあります。でもそれを払拭するくらい日々の疲れを吹き飛ばしてくれる大切な家族になりました。まだまだ初心者で知らないこともたくさんあり、チャットGPTに頼ることも多いですが、幸せにしてあげたいと思います♪

猫を飼うことにより一緒に居ることの嬉しさや幸福感を味わえています!一緒に眠ることは最大の癒しになっています。
白濱 優花



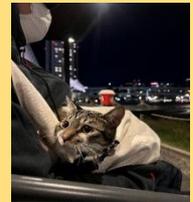
家に来た時の様子 (生後4か月)



一緒に寝てくれる



お散歩に行ける



帰りを待って
くれている

